

日本神経精神薬理学会 第 57 回理事会議事録

日 時： 2014 年 2 月 28 日（金） 13：00～17：00

場 所： コンベンションルーム・AP 品川 会議室「J」

（〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 9 階 Tel. 03-5798-3109）

出席者： 山脇成人理事長，大熊誠太郎，南 雅文，鈴木 勉，尾崎紀夫，久住一郎，
須原哲也，加藤忠史，武田弘志，橋本 均，西川 徹，吉岡充弘 各理事
齋藤利和，馬場明道 各監事

池田和隆国際学術委員長，橋本亮太広報委員長，石郷岡純 TMS 委員長

欠席者： 荻田喜代一，神庭重信，齋藤利和，中村 純 各理事

岩田仲生次期会長，山田清文日薬連 WG 委員長

冒頭に、前回（第 56 回）理事会議事録（案）、前回（第 43 回）評議員会／総会議事録（案）、持ち回り理事会議決事項一覧が提出され、異議なく承認された。

I. 報告事項

1. 第 44 回年会（第 24 回日本臨床精神神経薬理学会との合同開催）準備状況報告

（岩田大会長欠席のため尾崎理事（CNP 大会長））

尾崎理事（CNP 大会長）より、第 1 回合同プログラム委員会での意見等について報告がなされた。

- ・シンポジウムはテーマを絞り、同時時間帯に平行して開催しないよう配慮する。一般演題の枠を増やす。ポスター演題を充実させる。
- ・プログラムについてのアンケートを行っているので、結果に基づき検討していく。
- ・スタディーグループは“教育セミナー”として若手向けの充実したセミナーとして開催する案が出されている。
- ・特別講演として、柳沢先生にお願いし内諾頂いた。

2. 第 43 回年会（第 23 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催）収支報告について

（仲田前大会長欠席のため山脇理事長）

1 月に大会事務局より約 259 万の大会余剰金（CNP との折半）の振込みがあった。収支決算書については後日報告となる。

3. 各委員会報告

a. 総務委員会（橋本均委員長）

以下の通り会員報告（2013 年 10 月 1 日から 2014 年 1 月 31 日）がなされた。

会員数：1,245 名（2014 年 1 月 31 日現在）

内 訳：名誉会員 30 名，功労会員 27 名，評議員 233 名

正会員 841 名，学生会員 97 名，賛助会員 17 社

新入会：25 名

退 会：本人申出 13 名

物故者：無し

b. 広報委員会（橋本亮太委員長）

資料に基づき、以下の報告がなされた。

- ・CINP 2014 Japan Night の企画について報告がなされた。

日 時：6 月 22 日（日）午後 8 時 30 分ー（オープニングセレモニー終了後）

場 所： パンパシフィックホテル クリスタルルーム

参加資格は、日本からの CINP 参加登録者とその家族。約 100 名の参加見込

また、開催費用として、日本神経精神薬理学会振興基金から 100 万円を補助する事が報

告された。(財務委員会承認済)
承認された。

- ・メール配信も年間スケジュールを策定し、自動的に配信出来るシステムを構築した。これによりホームページも定期的に更新される形となる。

c. 編集委員会 (南委員長欠席)

- ・委員会報告は特に無し。
- ・最近の学会誌が PubMed へ掲載されていないとの指摘があり、原因について調査することとなった。

d. 財務委員会 (大熊委員長)

協議事項で掲載

e. 国際学術委員会 (池田委員長)

資料に基づき、以下の報告がなされた。

1) 第 43 回沖縄大会時に委員会を開催した。

出席者：大森、梶井、菊地、齋藤、橋本均、古屋敷、松木、池田

欠席者：岩田、鈴木、住吉、宮川、山脇 (敬称略)

出席委員より担当項目について状況報告と提案がなされた。

- ・フィリップス CINP 理事長、ゾハール ECNP 理事長に特別講演を依頼した。
- ・広報委員会、研究推進委員会とともに委員会合同ミーティングを企画実施した。

2) 製薬企業のニーズ調査

菊地委員が製薬協の国際開発委員会加盟約 30 社の製薬会社へアンケートを依頼中
2014 年 2 月 28 日を期日として回収している。

3) 梶井靖委員、住吉太幹委員、古屋敷智之委員からの活動報告書について紹介された。

4) AsCNP

- ・セントラルオフィスの事務委託契約を学会支援機構と締結した
- ・JSCNP が平成 26 年度の AsCNP 加盟学会となることを決定した

5) CINP

- ・2014 年 6 月 22-26 日にカナダのバンクーバーで開催される
同大会にて山脇 JSNP 理事長が、正式に CINP 理事長へ就任となる
国際学術委員会として Japanese session の実施案を山脇 JSNP 理事長へ提出した
- ・齋藤利和 JSNP 監事が CINP 理事の 2 年延長の候補者としてノミネートされた

6) ACNP

・第 52 回年会

JSNP の 2 名の参加枠で橋本謙二理事と須原哲也理事が参加した

なお、CINP の参加枠では齋藤利和監事、池田和隆国際学術委員長が参加。AsCNP の参加枠では橋本亮太広報委員長、梶井靖、住吉太幹、古屋敷智之の各国際学術委員、曾良一郎評議員が参加。シンポジスト招聘で宮川国際学術委員、個人的ついでに橋本均総務委員長、吉岡充弘理事、大村会員が参加した。

- ・橋本均総務委員長と池田和隆国際学術委員長が 2014 年よりメンバーに就任した。
- ・アステラス製薬のミッキー松本先生がメンバーシップ選考委員に就任した
- ・リーダーシップミーティングに齋藤利和 CINP 理事、池田和隆 AsCNP 事務局長が出席した。

f. 学術賞選考委員会 (吉岡委員長)

資料に基づき、報告がされた。

JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2014 への応募者が 18 名あり、選考委員会

にて選考中であることが報告された。選考結果については、次回理事会にて報告する。
また、第3回学術奨励賞が募集中であり、積極的な推薦が促された。

g. 長期計画委員会（山脇委員長）

特に無し。

h. 研究推進委員会（尾崎委員長）

日本製薬工業協会と厚生労働省へ、日本神経精神薬理学会と日本うつ病学会との連名で「向精神薬と運転技能」に関する要望書が提出されたことが報告された。

i. 倫理委員会（利益相反）（中村委員長が欠席のため尾崎委員長）

前回理事会での課題検討事項であった、倫理規定に関して、委員会で下記の2点について方針を鑑み、検討・作成された、「日本神経精神薬理学会倫理規定(案)」の報告がなされた。

(1) 「人を扱う研究については、世界医師会によるヘルシンキ宣言（その改訂版を含む）および日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」及び「臨床研究における倫理綱領の補遺等に記載された倫理規約に則し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしたことを抄録に明記することとした。

(2) 動物実験を用いた研究については関連法令・通達のほか、各機関における動物実験指を遵守することとした。

上記、規定案について報告について大会の発表規定として抄録に明記する事はよいが、学会として倫理規定として「抄録に明記する」という文言ではなく、「十分に配慮を行う」、「明示して下さい」などの一般的な文言にした方がよいのではないかとの意見が出された。また、「十分なインフォームド・コンセント」は「必要とされる…」が適切ではないかとの意見があり、他意見については尾崎理事に連絡することとなった。
倫理委員会で再度検討した規定をホームページに掲載することとした。

j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（石郷岡委員長）

武田薬品工業株式会社より、打診があり、正式申込みがなされた場合の受け入れ態勢を整えていく準備を進めている旨報告がなされた。

k. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース（石郷岡委員長）

資料に基づき、統合失調症薬物治療法タスクフォースの進捗状況と、第1回統合失調症薬物治療法タスクフォースについて報告がなされた。

1) 2014年3月15日、日本統合失調症学会会期中に第2回会議を開催する。

各班から提出されるCQ一覧を確認、調整、採否を合議で決定する。

詳細なエビデンス収集方法、エビデンスレベルの決定方法、推奨度の決定方法などを確認する。

2) 2014年夏をめどに、第3回会議を開催する。

エビデンスに基づくCQへの回答を取りまとめる。

各CQへの回答のエビデンスレベルを合議で決定する。

3) 2014年11月年会において暫定版を発表予定

・平成25年10月から作成を開始し、平成27年秋の合同年会において公表する。

・委員会名を「統合失調症薬物治療法タスクフォース」とし、委員長は「議長」、担当委員を「メンバー」と称することとした。

・会議費予算は年100万円

1. 日薬連連携ワーキンググループ委員会（山脇理事長）

日本病院薬剤師会との精神科医専門薬剤師について、もっとオープンにオフィシャルにしていく予定であるとの、準備段階であるとの進捗状況について報告がなされた。

5. CINP、ACNP、AsCNP 等国际対応について

国際学術委員会報告を参照。

CINP ソウル 2016、ウィーン 2018

6. 第 45 回年会(第 37 回日本生物学的精神医学会との合同開催)準備状況報告(武田次期大会長)開催日程について議論がなされ、日本神経精神薬理学会としては 9 月開催希望で日本生物学的精神医学会へ打診することが確認がなされた。

会場:タワーホール船堀

日時:9月24(木)-26(土)または

テーマ:精神・神経疾患におけるトランスレーショナルリサーチの実践と展開(予定)

若手の先生方を中心に組織委員会(基礎臨床から各 10 名ずつ)を作り、プログラムを組んでいく予定である。

II. 協議事項

1. 2013 年度収支決算報告及び監査報告について

1) 2013 年度収支決算について

2013 年度収支決算および神経精神薬理振興基金決算について報告がなされ、承認された。

収支計算書、監査報告、振興基金収支計算報告書について異議なく承認された。

2) 2013 年度監査報告書について

馬場監事より監査の結果、収支の記載が適正であると認められていることが報告された。

3) 財政状況について

①年々、財産が減っている状況において、日本臨床精神神経薬理学会との合同年会開催時と同様の収入見込みも無くなる中、支出の引締めが必要との報告がなされた。

②予算の半分が編集出版費となっており、冊子体を廃止し電子媒体にする、利益のある学会誌にしていくなど、出版のあり方を議論する必要がある。

③“収入を増やし、支出を減らす”ことを念頭に対策していく必要がある。ワーキンググループを設け、対策を講じる必要があるとの財務委員会としての意見が出された。今後の重要検討課題事項とする。

2. 執行委員会(旧長期計画委員会の今後の活動について)

法人化、学会の継続性(副理事長制度)、年会開催の在り方、学会財政上の課題の検討など、執行委員会は、戦略的な議論、企画・提案したものを理事会に報告出来る様、積極的に活動していく必要がある。

3. 理事および次期理事長予定者に関する選挙制度について(山脇理事長・橋本均総務委員長)

前回理事会で承認された、次期理事長の選出・選挙制度について、評議員会/総会に諮り、承認されたことが確認され、法人化とともに手続きを進めていくことになった。

また、次期理事長(現副理事長)として総務委員長をもって充てるとし、橋本均総務委員長の名前が挙げられ、満場一致で承認された。

4. 法人化について(橋本均総務委員長)

1) 一般会員への周知

4～7月頃 HP、一斉配信メール、会誌

意義がなければ全員新法人に移行する方針でよいか? 期限を決めて、意見を求める。

2) 司法書士により作成される理事就任依頼書を理事に依頼

※設立時社員(実印、印鑑証明(有効期間3か月))

3) 公証役場での手続き後、2014年9月新法人設立、12月末任意団体を解散

※9～12月は、新法人と任意団体は併存

- 4) 第一回総会（任意団体としての解散決議、新法人での決議）
 - ・基金は、旧理事長からのものとし、返還しないこととする。
 - ・公証人による文言の修正はあり得るので、この定款を趣旨とする変更を設立時社員に一任していただく必要あり。
- 定款・規則・内規について以下意見が出され、ワーキンググループで検討していくこととなった。
- ・年会費について（事業年度との関係で検討が必要）初年度も徴収する。
 - ・事業年度を現行の1月～12月から、9月～翌年度8月31日とする。
 - ・代議員制とすることとした。
 - ・理事と監事は任期満了時に65歳を超えないものとした。
 - ・役職定年を設け、8月31日現在で満65歳となっていれば辞め、次点者を繰り上げ役員とする。次点者へは、役員になる年月日を予め通知しておく。
 - ・2014年度の評議員選挙では現行選挙制度のまま執行し、以降の選挙より法人化の制度で執行していく。
 - ・役員選挙選考委員は学会会員以外の方も入れる
 - ・予備選挙時は得票順に定員の3倍までを本選挙候補者とする。
 - ・功労会員、名誉会員の年齢も会計年度と合わせることにする。
5. 寄付金等への学会としての対応(お礼)について(橋本総務委員長)
広島同門会からと同様に、今後は寄付金を頂いた団体・個人には、感謝状を贈ることが確認された。
 6. CINP Japan Night の開催について
報告事項：広報委員会に同じ。
 7. CINP Excellent Presentation Award for CINP 2014 について
報告事項：学術賞選考委員会に同じ。
 8. ECNP Nomenclature タスクフォースへの対応について
一部、関係のある先生方と相談しながら、CINPバンクーバーでアジアとしての意見を求められているとの現状報告があり、詳しい内容についてはメール等で報告することとなった。特に無し。
 9. 新評議員の承認の件
以下の1名が推薦されており、審議の結果、新評議員として評議員会へ推薦することが承認された。(敬称略)
出雲 信夫(横浜薬科大学薬学部臨床薬理学研究室) / 推薦評議員：鈴木 勉、渡邊 泰雄
 10. 新入会者希望者承認の件
2013年10月1日から2014年1月31日までに正会員17名、学生会員7名、評議員1名計25名の入会申込者があったことが報告され、全員が承認された。
また、以下の先生方は本分野での貢献と教授職での入会であることから、評議員に推薦することが承認された。
(敬称略)
門司 晃 (佐賀大学医学部精神医学講座教授)
金子 周司 (京都大学大学院薬学研究科生体機能解析分野教授)
 11. 学生更新について
2014年度第1回年会費請求書へ同封の学生証提出依頼書内容について確認がなされた。
 12. 会費滞納者について
4年以上会費を滞納している者の名簿が提出され、対応について確認がなされ、評議員以外は除名処置をすることが承認された。
 13. 業務委託契約について
事務局より2014年度業務委託契約書(案)が提出され、審議の結果、委託を継続することが承認された。

13. その他

次回理事会は、法人化の進捗を踏まえ、後日理事長、総務委員長で候補日を決定することとなった。

以上

平成 26 年 2 月 28 日
日本神経精神薬理学会
理事長 山脇 成人